

●てくてくまつぶはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

企画・発行＝近畿日本鉄道（株）  
制作・印刷＝（株）アド近鉄  
イラストマップ＝シ・アトリエ 瀬川俊明  
※無断転写禁ず。

コースのあらし 眺めてよし、登ってよしの大国見山(国見山・大岳)の魅力をつぶり味わえるコースである。

天理駅から石上神宮までは天理教のハッピー姿で賑わう商店街と教団関係施設の間を縫って歩く。石上神宮境内を抜けると青垣の山々がぐと前に迫り清々しい。石仏や梵字石を見ながら山道へ入り桃尾の滝に至る。早目の昼食ならここで。さらに山道を登り、竜福寺跡の石垣に仏燈を偲びながら大国見山へ登る。足にやさしい登山道、頂上の展望も良く、遅目の昼食ならここで。北へ下山ルートも歩きやすい。名阪国道をくぐり大和棟が美しい岩屋の町を抜ける。ゆるやかな坂を下り、再び天理の町を通過してゴールの天理駅へ戻る。

- 地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。
- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の箇所があります。



石上神宮 『日本書紀』に記載がある古社。鬱蒼とした樹々と玉砂利が清らかな雰囲気醸し、鶏が境内を散歩する光景に心安まる。池には珍しい馬魚が棲む。

桃尾の滝 落差23m、布留の滝ともいわれる『古今和歌集』にも詠まれている。不動明王摩崖仏や石仏があり行場ともなっているようだ。

竜福寺跡 奈良時代、義淵僧上が開き弘法大師が再興したと伝える。16の僧坊があったが明治時代に廃され、阿弥陀堂跡に大親寺がたつ。石垣と石仏に往時を偲ぶことができる。龍蓋寺(岡寺)・竜門寺と共に大和の三竜寺といわれた。大国見山 標高498.0m、三角形の美しい山。頂上から北に木津川・若草山・奈良市街、西に天理市街・生駒・信貴・葛城・金剛の連山一望。昔、烽火を使う際に油を溜めた穴が残る。

●印=道標  
⑦印=万葉歌碑

●大和難波駅から天理駅まで約1時間(大和西大寺駅のみかえ)  
●京都駅から天理駅まで約55分  
●近鉄名古屋駅から天理駅まで特急約2時間30分(大和八木駅まで特急利用、大和八木駅・平端駅のみかえ)

●約15キロ(天理駅～石上神宮～桃尾の滝～大国見山～天理駅)

# 大国見山コース

## ハイキングのエチケット

- \*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
- \*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
- \*大切な自然です。植物の採集はつしましませう。

新たな特典など、さらに充実!  
近鉄 あみま倶楽部  
会員募集中!  
(年会費1,000円)  
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

近鉄

きれいな思い出 きれいな自然  
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。  
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。  
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3666  
天理市商工観光課 ☎(0743)63-1001